

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 8 - 12		(継続事業)																
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業																		
細要素事業名	船越・田の浜地区防災集団移転促進排水対策事業																		
全体事業費	86,363 82,326 (千円)	(▲4,037千円)	今回申請額：66,519千円																
<p>【事業概要】</p> <p>船越地区（前須賀区域）には、震災前から汚水処理の中継ポンプ場が設置されており、震災後は船越・田の浜地区防災集団移転促進事業で整備した高台団地を含めた周辺住宅地の汚水を集約し、下水処理場まで圧送する役割を担っている。</p> <p>しかしながら、当該区域は東日本大震災により地盤沈下し、その結果、大雨時の冠水が常態化していることから、大規模な冠水によりポンプ場が水没した場合、汚水を処理場まで圧送する機能が停止し、周辺住宅地住民の日常生活に支障をきたす恐れがある。</p> <p>このことから本事業は、船越地区（前須賀区域）における排水対策を実施することにより、船越・田の浜地区住民の生活環境を保全するものである。</p> <p>本件排水対策は、震災後に最も多かった総降雨量188.0mm、（平成29年台風18号の大雨による最大1時間降水量58.0mm）から本ポンプ場を守る計画として検討を進めるもので、排水対策については、(1)中継ポンプ場の高台新築、(2)中継ポンプ場の嵩上げ、(3)水中ポンプによる圧送、以上の3案の中で最も安価であった(3)水中ポンプによる圧送による検討を進めるもの。（具体の計画については、本件申請のうち「設計業務委託」の中で詳細検討、積算等を行う。）</p> <p>なお、本件排水対策整備後の施設は、「雨水排水施設」として本町建設課で管理予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>本事業は、前須賀区域の雨水排水機能を改善することにより、船越・田の浜地区防災集団移転促進事業により整備された高台団地及び周辺住宅地のための汚水中継ポンプの機能停止を防ぐものであり、基幹事業の効果を促進するものである。</p> <p>【事業期間】</p> <p>令和元年12月 ～ 令和2年12月 令和3年3月</p> <p>【事業費】</p> <p><令和元年度></p> <p>測量試験費 15,807千円</p> <p><令和2年度></p> <p>本工事費等 70,556千円 66,046千円 (▲4,510千円)</p> <p>用地費及び補償費 - 473千円 (+ 473千円)</p> <p><事業費合計></p> <p>事業費合計 86,363千円 82,326千円 (▲4,037千円)</p> <p>【参考】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> <th>内 訳</th> <th>回答日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提出済額</td> <td>15,807千円</td> <td>測量試験費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>今回提出額</td> <td>66,519千円</td> <td>本工事費等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82,326千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	事業費	内 訳	回答日	提出済額	15,807千円	測量試験費		今回提出額	66,519千円	本工事費等		合計	82,326千円		
区分	事業費	内 訳	回答日																
提出済額	15,807千円	測量試験費																	
今回提出額	66,519千円	本工事費等																	
合計	82,326千円																		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。